

2020年2月26日

報道機関各位

ソニックウォール・ジャパン株式会社

SONICWALL、新型コロナウイルスとの戦いに備え、 リモートアクセス装置 SMA の 30 日間スパイクライセンスを無償提供

SSL-VPN 同時接続ユーザ数を機種最大まで拡大

世界中で 100 万以上のネットワークを保護している SonicWall Inc.(米国)の日本支社 ソニックウォール・ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 本富 顕弘)は本日、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え、ビジネスへの影響を最小限にするために、SonicWall のリモートアクセス装置 SMA (Secure Mobile Access)の 30 日間スパイクライセンスを、日本の企業、組織に対し無償で提供することを発表しました。

新型コロナウイルスの拡散を防ぐためには不要不急の外出を控える必要がありますが、企業、組織のビジネスは継続させなければなりません。今日、大企業はもちろん中小企業でも従業員に在宅勤務などリモートからでも業務ができるように仮想プライベートネットワーク(VPN)の導入が進んでいます。しかし、多くの導入企業でも、全従業員が同時に使えるだけの十分な VPN ライセンスは保持していません。そのため、従業員は必要なビジネスリソースにアクセスできないか、または安全でない接続を介してアクセスするため重大なリスクになりえます。

この緊急事態にビジネスの継続性を確保するために、SonicWall Secure Mobile Access (SMA)にはスパイクライセンスが有効です。スパイクライセンスとは、一時的に同時接続ユーザ数を増やすことができるライセンスです。この度、日本の SMA ユーザに対し 30 日間スパイクライセンスを無償で提供します。たとえば、SMA6210 で同時接続数 500 ライセンスの導入ユーザ企業では、スパイクライセンス導入により、当モデルの最大同時接続数 2,000 まで拡大させることができます。

日本では政府主導により「働き方改革」が提唱され、在宅勤務などのテレワークが普及しつつあります。この度のコロナウィルスの流行では、従業員保護の目的はもちろん、事業継続計画(BCP)の観点からもテレワークの実施が不可欠となっています。さらに、この夏開催の東京オリンピックも控え、企業の ICT インフラにはリモートアクセスは不可欠な要素になっています。

「SonicWall は UTM/次世代ファイアウォールの老舗ですが、SSL-VPN におきましてもそのパイオニアとして実績を積み重ねてきました。SonicWall は、最適なセキュリティソリューションを必要な時に、必要とする日本のお客様へお届けするために、私ども日本法人を設置しています。この度の新型コロナウィ

ルスの流行に際し、弊社 SonicWall として何ができるか検討した結果、SMA スパイクライセンスの無償提供に至りました。SonicWall SMA が日本のお客様にセキュアリモートアクセスを提供し、事業継続の一助として頂ければ幸いです」とソニックウォール・ジャパン株式会社 代表取締役社長 本富 顕弘は述べています。

なお、SonicWall SMA は、日本市場の SSL-VPN 装置出荷台数ベースでトップシェアをもっています。(出展:株式会社富士キメラ総研「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧《市場編》」)

SMA 30 日間スパイクライセンス無償提供キャンペーン

対象顧客	既存 SMA ユーザ企業・組織ならびに新規 SMA 導入企業・組織
対象モデル	SMA210/SMA410/SMA6210/SMA7210
拡張ライセンス数	50/250/2,000/10,000(各モデルの最大同時接続ユーザ)
ライセンス期間	設定、使用開始から 30 日間
導入期限	2020 年 4 月 20 日(販売店へのご注文)
お問い合わせ先	ソニックウォールまたは販売代理店

* 本キャンペーンにつきましては、別紙詳細資料をご参照ください。

<https://sonicwall-pub.snwl.jp/files/marketing/SMA-Campaign.pdf>

SonicWall について

SonicWall は 28 年以上にわたってサイバー犯罪と戦い、世界中の中小企業や各種事業組織、政府機関を守り続けています。受賞歴のある当社のリアルタイム侵害検出・防止ソリューションは、SonicWall Capture Labs の研究によってその効果が裏付けられています。このソリューション群は、実に 215 以上の国と地域で、100 万以上のネットワークとその中の電子メールやアプリケーション、データを保護しています。これによって多くの組織がより効果的に稼働し、セキュリティ上の懸念を軽減しているのです。詳細にご興味をお持ちの方は、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/>をご覧ください。また、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) で当社をフォローしてください。

広報担当の連絡先

ソニックウォール・ジャパン株式会社

マーケティング 白畑 mshirahata@SonicWall.com